

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年7月23日

上場会社名 総合メディカルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9277 URL <https://www.sogo-medical-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 賢治
 問合せ先責任者(役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 修 (TEL) 092-713-7091
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,639	—	688	—	695	—	241	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 113百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 ー百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.07	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	101,034	38,406	37.7
2019年3月期	93,560	38,669	41.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 38,081百万円 2019年3月期 38,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	13.75	13.75
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	13.75	—	13.75	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期までの実績はありません。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,161	—	2,166	—	2,236	—	1,261	—	42.12
通期	165,313	14.3	6,367	17.6	6,510	16.1	3,672	13.1	122.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	30,680,312株	2019年3月期	30,680,312株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	745,549株	2019年3月期	745,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	29,934,763株	2019年3月期1Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、実績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社は、2018年10月1日に単独株式移転により総合メディカル株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、総合メディカル株式会社の2019年3月期第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)と比較しております。

	2019年3月期 第1四半期	利益率	2020年3月期 第1四半期	利益率	増減額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	35,155		38,639		3,483	9.9
医業支援	8,936		10,770		1,834	20.5
コンサルティング	586		542		△44	△7.5
レンタル	2,045		1,931		△114	△5.6
リース・割賦	2,231		2,643		411	18.4
院内売店	2,426		2,430		4	0.2
医療アウトソース	—		1,789		1,789	100.0
その他	1,645		1,433		△212	△12.9
薬局	25,977		27,622		1,645	6.3
その他	242		245		3	1.3
営業利益	832	2.4	688	1.8	△144	△17.3
医業支援	153	1.7	63	0.6	△89	△58.2
薬局	749	2.9	1,073	3.9	324	43.3
その他	△6	—	10	4.3	16	—
調整額	(63)	—	(459)	—	△396	—
経常利益	866	2.5	695	1.8	△170	△19.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	430	1.2	241	0.6	△189	△43.9

2020年3月期は、中期経営計画「アクション2020」の最終年度として「日本型ヘルスケアビジネスの具現化」に向け、「医療モールの開発」「病院の経営支援」「価値ある薬局の創造」と、「既存事業の機能付加・強化と医療周辺事業への事業領域拡大」に取り組み、地域ヘルスケアネットワークの基盤づくりを推進しております。

当第1四半期の経営成績は、医業支援部門においては、株式会社ルフト・メディカルケアのグループ化に伴う売上増、薬局部門においてはM&Aを含む新規出店効果により、売上高は38,639百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

利益面では、株式譲受に伴う取得関連費用252百万円の負担が大きく、営業利益は688百万円(同17.3%減)、経常利益は695百万円(同19.7%減)となりました。さらに取得関連費用については連結決算手続上、繰延税金資産を計上できないため法人税の負担が重たく、親会社に帰属する四半期純利益は241百万円(同43.9%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は、以下のとおりであります。

① 医業支援

当第1四半期の医業支援の売上高は、株式会社ルフト・メディカルケアのグループ化に伴う売り上げ増で10,770百万円(前年同期比20.5%増)となりました。利益面では、既存事業の減益の影響により、営業利益は63百万円(同58.2%減)となりました。

ア. コンサルティング

D t o D（医業継承・医療連携・医師転職支援システム）においては、登録医師会員数が、当第1四半期末で81,506人となりました（前期末比1,719人増）。

地域の方々が住み慣れた町で、安心して暮らし続けられる医療・介護等の拠点となる医療モールの開発においては、案件の積み上げと開発を進め、当第1四半期末の医療モール件数は114件となりました（前期末比5件増）。

医師の開業支援、医師紹介の手数料が増加しましたが、医業継承支援による媒介手数料が減少したため、売上高は542百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

2019年6月には、D t o D登録の開業希望医向けの新サービスとして、W e bでの診療圏調査申し込みサービスを開始しました。これにより、D t o D登録会員の増加や開業支援、医療モール開発を加速させます。

イ. レンタル

テレビシステム等のレンタル設置台数は増加しましたが、商品売上（転レンタル）が減少したため、売上高は1,931百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

ウ. リース・割賦

医療モール開発における医療機器の新規設置や医療機器の入替案件などの契約受注により、契約高は2,335百万円（前年同期比5.6%増）となり、売上高は2,643百万円（同18.4%増）となりました。

エ. 院内売店

病院内売店、レストラン事業の売上高は2,430百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

2018年4月の株式会社文教のグループ化後、病院内売店6店、レストラン3店を新規出店し、事業拡大を図るとともに、レンタル事業など既存事業との連携強化を図っています。

2019年6月には、関西地域の事業拡大を目的として、滋賀文教総合サービス株式会社の株式を100%取得しました。株式会社文教の関西支店との連携を強化し、関西地域での事業拡大を加速させていきます。

オ. 医療アウトソース

2019年5月にグループ化(100%株式譲受)した株式会社ルフト・メディカルケア(人材サービス事業)の売上高は1,789百万円となりました。

同社は、医療・介護分野に専門特化したアウトソーシングのリーディングカンパニーとして、病床400床以上の大規模病院やグループ病院を中心とした全国約700の医療機関向けに、人材派遣を主軸とした人材サービス事業を展開しております。医師・看護師等の専門職が担う多種多様な非専門業務を、同社が提供する人材サービスによりタスクシフト・タスクシェアしていくことで、院内業務の効率化、医療従事者の働き方改革に大きく貢献しております。

カ. その他

設計・施工事業の受注減少により、売上高は1,433百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

② 薬局

中期経営計画の重点施策である「価値ある薬局の創造」をテーマに地域から選ばれる薬局「みんなの健康ステーション」を目指し、かかりつけ薬剤師・薬局をベースとした高度な薬学管理ニーズに対応するための専門薬剤師の育成や健康サポート薬局拡大に向けた取り組みを推進しております。

健康サポート薬局の取り組みでは、健康サポート薬局の認定数が、当第1四半期末で127店となりました。

調剤薬局の店舗数は、当第1四半期に15店舗(株式譲受による出店7店舗、事業譲受による出店1店舗を含む)を出店した結果、当第1四半期末で713店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期の薬局の売上高は、M&Aを含む新規出店効果や、「みんなの健康ステーション」としての各種取り組みにより、27,622百万円（前年同期比6.3%増）となり、営業利益は1,073百万円（同43.3%増）となりました。

③ その他

売上高は245百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は10百万円（前年同期は6百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期 第1四半期末	増減
総資産	93,560	101,034	7,473
うち、現金及び預金	10,883	14,478	3,594
負債	54,890	62,628	7,737
うち、有利子負債 (注) 1	26,616	33,286	6,670
純資産	38,669	38,406	△263
自己資本比率 (%)	41.0	37.7	△3.3
ネットD/Eレシオ (倍) (注) 2	0.41	0.49	0.08

(注) 1 有利子負債は貸借対照表に計上したリース債務、割賦未払金等を含む。

2 ネットD/Eレシオ (ネット・デット・エクイティ・レシオ) の算出方法：

(有利子負債－現金及び預金) ÷ 自己資本

当期末の総資産は、前期末比7,473百万円増加の101,034百万円となりました。流動資産は、前期末比1,790百万円増加の48,891百万円となりました。これは、現金及び預金が3,594百万円増加、たな卸資産が924百万円増加し、受取手形及び売掛金が3,115百万円減少したことが主な要因であります。固定資産は、前期末比5,683百万円増加の52,143百万円となりました。これは、のれんが5,167百万円増加したことが主な要因であります。

負債は、前期末比7,737百万円増加の62,628百万円となりました。流動負債は、前期末比8,387百万円増加の40,977百万円となりました。これは、短期借入金が7,496百万円増加したことが主な要因であります。固定負債は、前期末比649百万円減少の21,650百万円となりました。これは、長期借入金が740百万円減少したことが主な要因であります。なお、有利子負債 (リース債務、割賦未払金等を含む。) は、前期末比6,670百万円増加し33,286百万円となり、有利子負債から現金及び預金を差し引いた金額を自己資本で割ったネットD/Eレシオは、前期末比0.08ポイント増の0.49倍となりました。

純資産は、前期末比263百万円減少し38,406百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により241百万円増加し、配当金の支払いにより411百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前期末比3.3ポイント減の37.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月23日に発表した2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,883	14,478
受取手形及び売掛金	21,138	18,023
割賦債権	4,408	4,486
リース投資資産	1,448	1,524
たな卸資産	6,542	7,467
その他	2,729	2,978
貸倒引当金	△51	△68
流動資産合計	47,100	48,891
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	6,821	6,916
建物及び構築物(純額)	13,155	13,228
その他(純額)	7,248	7,556
有形固定資産合計	27,225	27,701
無形固定資産		
のれん	11,633	16,800
その他	1,241	1,299
無形固定資産合計	12,874	18,100
投資その他の資産	6,360	6,341
固定資産合計	46,460	52,143
資産合計	93,560	101,034
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,819	18,386
短期借入金	133	7,630
1年内償還予定の社債	44	180
1年内返済予定の長期借入金	5,112	4,824
リース債務	175	179
未払法人税等	1,053	236
その他	6,250	9,540
流動負債合計	32,589	40,977
固定負債		
社債	215	643
長期借入金	15,792	15,051
リース債務	902	842
長期割賦未払金	3,090	2,817
その他	2,299	2,295
固定負債合計	22,300	21,650
負債合計	54,890	62,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	38	38
利益剰余金	29,819	29,649
自己株式	△1,878	△1,878
株主資本合計	37,978	37,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	392	272
その他の包括利益累計額合計	392	272
非支配株主持分	298	324
純資産合計	38,669	38,406
負債純資産合計	93,560	101,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年6月30日まで)
売上高	38,639
売上原価	32,760
売上総利益	5,878
販売費及び一般管理費	5,190
営業利益	688
営業外収益	
受取配当金	15
受取賃貸料	5
その他	68
営業外収益合計	89
営業外費用	
支払利息	37
その他	44
営業外費用合計	82
経常利益	695
税金等調整前四半期純利益	695
法人税、住民税及び事業税	324
法人税等調整額	138
法人税等合計	462
四半期純利益	233
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	241

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年6月30日まで)
四半期純利益	233
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△119
その他の包括利益合計	△119
四半期包括利益	113
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	122
非支配株主に係る四半期包括利益	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。